

MITOYO

Kagawa

三豊市第3次観光基本計画

2025 年度 - 2029 年度

三豊をもっと好きになる。



MISSION / なぜ三豊市が観光を推進するのか

美しい風景とふるさとを未来へ残す

VISION / 三豊市の観光の GOAL：目指す姿

風景が観光を育み、観光が風景を創るまちへ

VALUE / 私たちが大切にしたい価値観、指針、基準

瀬戸内の水鏡・多島美と里山、自然と人が織りなす風景

既存ターゲット

“感動的な
自然風景を
求める旅行者”

A 父母ヶ浜を目的に訪れる旅行者

国内外より多くの旅行者が訪れる三豊市No.1の人気スポット

B 紫雲出山を目的に訪れる旅行者

桜の名所として世界各地から旅行者が訪れる。家族連れが多い特徴的なターゲット層

C 訪日外国人旅行者（インバウンド）

台湾、香港、欧米諸国を中心とする自然風景を目的とした訪日旅行者

D アート・瀬戸芸を目的に訪れる旅行者

瀬戸内国際芸術祭など、自然と現代アートの組み合わせを好む旅行者

新規ターゲット

“地域と繋がり・
学び・成長を
求める来訪者”

E 視察研修を目的に訪れる来訪者

ビジネスチャンスや、モデルケースの研修を期待する行政・DMO・民間事業者

F ジオ・歴史・文化・伝統を目的に訪れる旅行者

観光地の背景にある地理、自然歴史、文化、伝統を好む

G 教育旅行・合宿を目的に訪れる学生等

スポーツ合宿、少人数制の修学旅行

H 関係人口に繋がる来訪者

都市と2拠点での生活者、移住を希望する人

- # 1 サステナブルな観光の推進
- # 2 ターゲットに合わせた情報発信・マーケティング
- # 3 満足度向上のためのコンテンツ造成
- # 4 「食」の魅力創出と連携
- # 5 リピーター・ファンの創出
- # 6 受入体制の整備
- # 7 観光DXの推進

1

サステナブルな観光の推進

具体的なアクション

- 日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)に基づき、環境、文化、経済の観点から**サステナブルな観光先進地を目指す。**
(グリーン・デスティネーションズ^(注1)の表彰)
- 誰もが安心して過ごせる**ユニバーサルデザインを取り入れた環境整備**を推進する。
- **地域内に持続可能性の重要性や実践方法を普及する。**

研修会・ワークショップなど

三豊市は、瀬戸内海と里山に育まれた豊かな自然に恵まれた地域です。この美しい自然環境と、人々が大切に守り育ててきた風景は、多くの人々に親しまれています。この素晴らしい魅力を守り続けるためには、観光産業が重要な役割を果たします。観光を通じて地域経済を活性化しつつ、自然や景観を大切に保全し、地域の暮らしに負担をかけることなく、持続可能な課題解決を目指します。「三豊市らしいサステナブルな観光」を実現することで、三豊市の豊かな魅力を未来へと引き継ぎます。

(注1)「グリーン・デスティネーションズ」は、持続可能な観光地、そのビジネス・コミュニティを支援するためにオランダで設立された組織であり、持続可能な観光の国際基準の制定・管理を行うGSTC（グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会）より認定を受けた国際認証団体です。

#

2

ターゲットに合わせた情報発信・マーケティング

具体的なアクション

- 三豊市の認知度を高めるため、**海外へのプロモーション**を実施する。
- 閑散期となっている**秋冬の発信を強化**する。
- 地域全体で**地域の魅力を共有し発信**する。
- **三豊らしい過ごし方(モデルコース)**を発信する。

三豊市とその周辺は、『瀬戸内』や『四国』と認識されるエリアの一部として非常に魅力的な地域です。この地域全体のブランド力を活用し、広域的な情報発信やマーケティングを展開することで、多くの方々に『三豊市を訪れる価値がある』と感じていただけるよう努めます。

#

3

満足度向上のためのコンテンツ造成

具体的なアクション

- 地域資源を活用した**コンテンツを造成**する。

滞在時間を延長させる早朝・ナイトコンテンツ / 地域の人と交流できるコンテンツ(祭り、まちあるき) / アート、歴史や伝統、文化体験できるコンテンツ
ディープな田舎体験のコンテンツ(サイクリング、農業体験) / 美しい自然を使ったコンテンツ(ジオ、環境学習、クルージング)など

- 高付加価値な**体験コンテンツの開発をサポート**する。
- **視察受入をパッケージ化**する。
- **教育旅行の市場調査、受入団体の整備を推進**する。

三豊市の豊かな自然を活かした体験型の観光コンテンツを造成し、市内のさまざまな魅力を旅行者に伝えるとともに、「三豊市でしか味わえない特別な体験」を提供することを目指します。

#

4

「食」の魅力創出と連携

具体的なアクション

- 三豊市を象徴する「食」の魅力創出と磨き上げを行う。

コンテスト・ワークショップ等の開催

- 地産地消の食を提供する店舗を掘り起こし、情報発信を行う。
- 多様な食の趣向に対応したメニューの市場調査・研修会を開催する。

三豊市は、瀬戸内海と里山に育まれた豊かな自然の中で、フルーツや野菜、海鮮など多くの産品に恵まれています。三豊市ならではの魅力的な食を創出するとともに、地元の豊かな食材を活かした「地産地消」を推進していきます。

#5

リピーター・ファンの創出

具体的なアクション

- **地域の人々との交流**を通して満足度向上を図る。地域イベント、まつりなどへの参加
- **父母ヶ浜を拠点に観光案内**を行い、市内周遊を促進する。
- 旅が終わった後も旅行者と三豊市との繋がりを保つため、**ふるさと納税**などを活用する。
- **県外の三豊出身者に働きかけ**、ファンの増加を図る。

自然と地域の人々が共に創り上げてきた美しい風景が三豊市の魅力です。まずは三豊市を好きになり、何度も訪れたいと思ってもらうことから始めていきます。

#6

受入体制の整備 / ハード環境整備

具体的なアクション

● 観光施設の整備を行う。

利用者満足度を向上させるため、父母ヶ浜などを中心に機能強化を図ります。
具体的には、緑化やユニバーサルデザイン、多言語表記の導入を進め、すべての人々が快適に訪れることができる環境を整備する。

● 景観の整備を行う。

美しい自然や伝統的な街並みを守り、地域の人々が愛す景観を維持するため、適切なゾーニングの設定や景観条例などによる計画的な景観整備を進める。

豊かな自然が三豊市の魅力ですが、観光の推進と景観のバランスを保つことが大切です。父母ヶ浜など三豊市の玄関口となる主要な観光拠点に対しては、適切な環境整備と対策を実施し、訪れる人々に快適な体験を提供できるよう取り組みます。

#6

受入体制の整備 / ソフト環境整備

具体的なアクション

- 高付加価値なサービスを提供する
ガイドを育成する。

ガイド養成講座の開催
公式ガイド認定制度の導入を検討

- インバウンド対策を推進する。**

多言語対応 / おもてなし研修 / キャッシュレス化の推進

- 観光事業者間のネットワークを構築する。**

観光関連事業者間の交流を促進
ネットワーク構築によりサービスやコンテンツの創出

- 事業者の情報発信を支援する。**

商品コンテンツ販売促進のための研修会などを開催

- ワーキングツーリズムを推進する。**

産業の担い手不足解消のため、旅行をしながら働きたい層や地域で働きたい層を地域の事業者をマッチングするサービスを支援（おてつたび、地域おこし協力隊など）

多様な旅行者を受け入れるために必要な「人材」「コンテンツ」「体制」の整備を進めます。それぞれに対して具体的なアクションを実施し、観光の受け入れ体制を強化します。

7 観光 DX の推進

具体的なアクション

- **観光DXの推進に向けた検討を行う。**

旅行者の利便性向上や周遊促進、観光産業の生産性向上、観光地経営の高度化を図ります。例えば、デジタルツールを活用し、旅行者が自分に合った旅行計画を立てやすくするシステムを構築します。旅行前に必要な情報をオンラインで簡単に調べられるようにし、旅行の準備をより便利にする。
(デジタル観光コンシェルジュなど)

- **観光関連データの集約・分析・活用を図る。**

観光施設の来場者数や宿泊客の動向など、観光に関するデータを一元的に集めて分析し、それを活用することで観光サービスの向上を目指す。

- **2次交通の利便性の向上に取り組む。**

旅行者が交通手段を簡単に確認できるようにし、移動の利便性を向上させる。

先進的な技術を活用して観光分野の DX（デジタルトランスフォーメーション）を三豊市の市場規模に合わせて推進します。これにより、旅行者の利便性向上や周遊促進、観光産業の生産性向上、観光地経営の高度化を図ります。

実施計画 / 三豊市第3次観光基本計画スケジュール

★ 観光推進委員会(仮)の開催(進捗チェック)

着手時期 →

基本戦略	アクションプラン	主体					2025		2026		2027		2028		2029	
		三豊市	観光交流局	市民	事業者	商工会	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
#1 サステナブル推進	ガイドラインに基づく観光地づくり	●	●					★		★						
	ユニバーサルデザインの導入	●	●													
	重要性の普及	●	●													
#2 情報発信・マーケティング	海外プロモーション	●	●													
	秋冬強化		●			●										
	地域発信			●	●											
	モデルコース		●	●	●											
#3 コンテンツ造成	コンテンツ造成				●	●										
	開発サポート	●	●			●										
	視察受入パッケージ化		●		●											
	教育旅行調査、推進	●														
#4 食の魅力創出	食の魅力創出・磨き上げ	●	●	●	●	●										
	地産地消情報発信	●	●													
	食の多様性、調査研究	●	●													
#5 リピーター・ファンの創出	地域との交流推進	●	●	●	●											
	父母ヶ浜での観光案内	●	●		●											
	旅アト対策ふさと納税	●	●		●	●										
	三豊市出身者への働きかけ	●	●		●											
#6 受入体制の整備	観光施設の整備	●		●	●											
	景観の整備	●		●	●											
	ガイドの育成	●	●													
	インバウンド対策	●	●		●											
	ネットワーク推進	●	●			●										
	情報発信支援	●	●		●	●										
#7 観光DXの推進	ワーキングツーリズム推進	●			●											
	観光DX活用に向けた検討	●	●													
	観光データの集約	●	●		●											
	2次交通情報の整理	●	●		●											

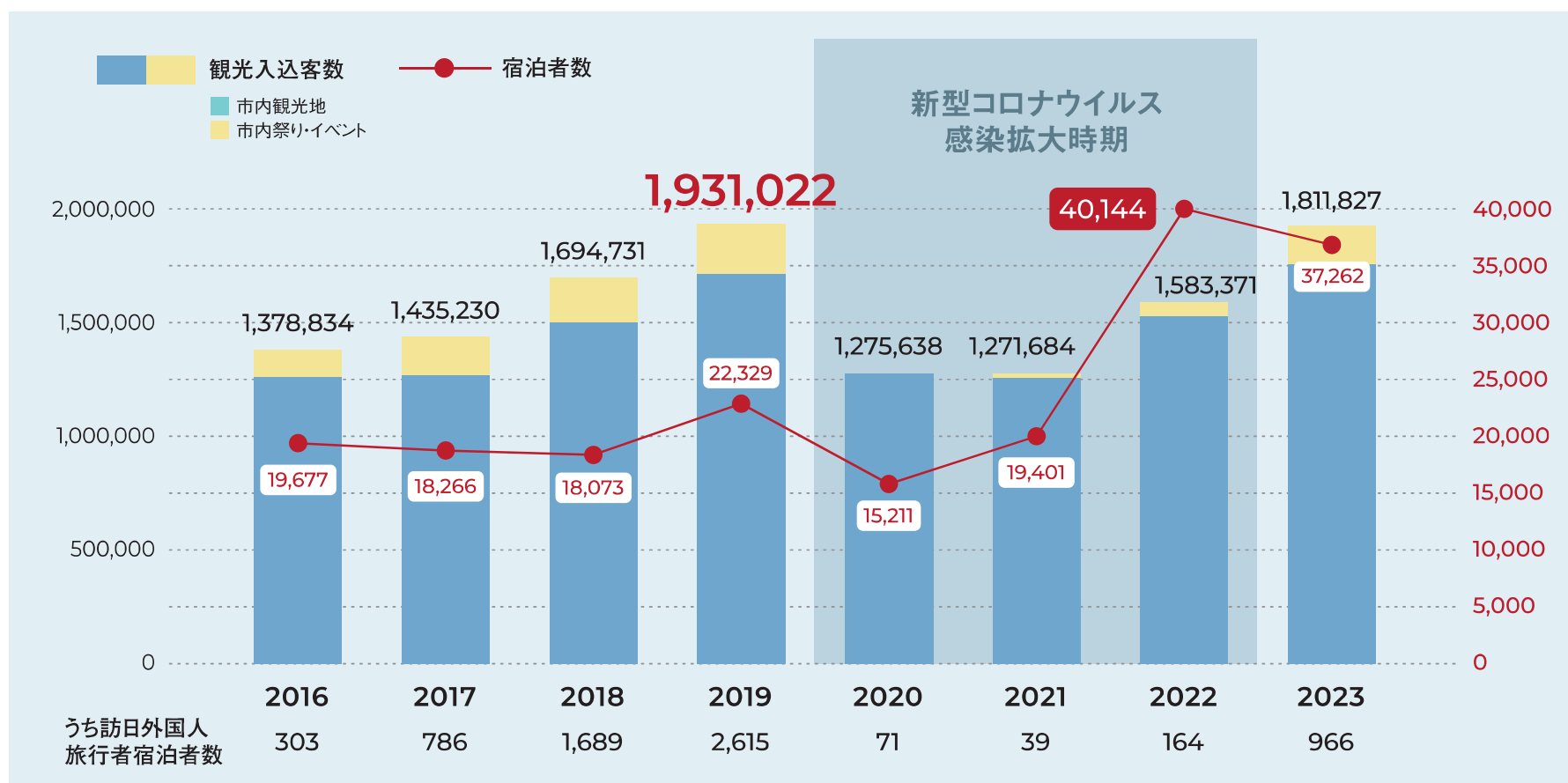
資料 三豊市第2次総合計画/三豊市観光状況データ2022/三豊市宿泊者数調査(三豊市・三豊市観光交流局)

	コロナ前	現状	目標
観光消費額 (三豊市に宿泊した観光客の消費額)	23,254円 (2018年)	38,852円 (2022年)	45,000円
観光入込客数	1,931千人 (2019年)	1,811千人 (2023年)	2,000千人
宿泊客数	22千人 (2019年)	37千人 (2023年)	50千人
うち訪日外国人 旅行者宿泊者数	2,615人 (2019年)	966人 (2023年)	3,000人
リピーター率 (主要観光地での来訪者率)	—	38% (2022年)	50%
市民愛着度 (三豊市に愛着があると感じている人の割合)	44.1% (2017年)	43.5% (2023年)	50%

2019年に観光客数**193**万人を記録

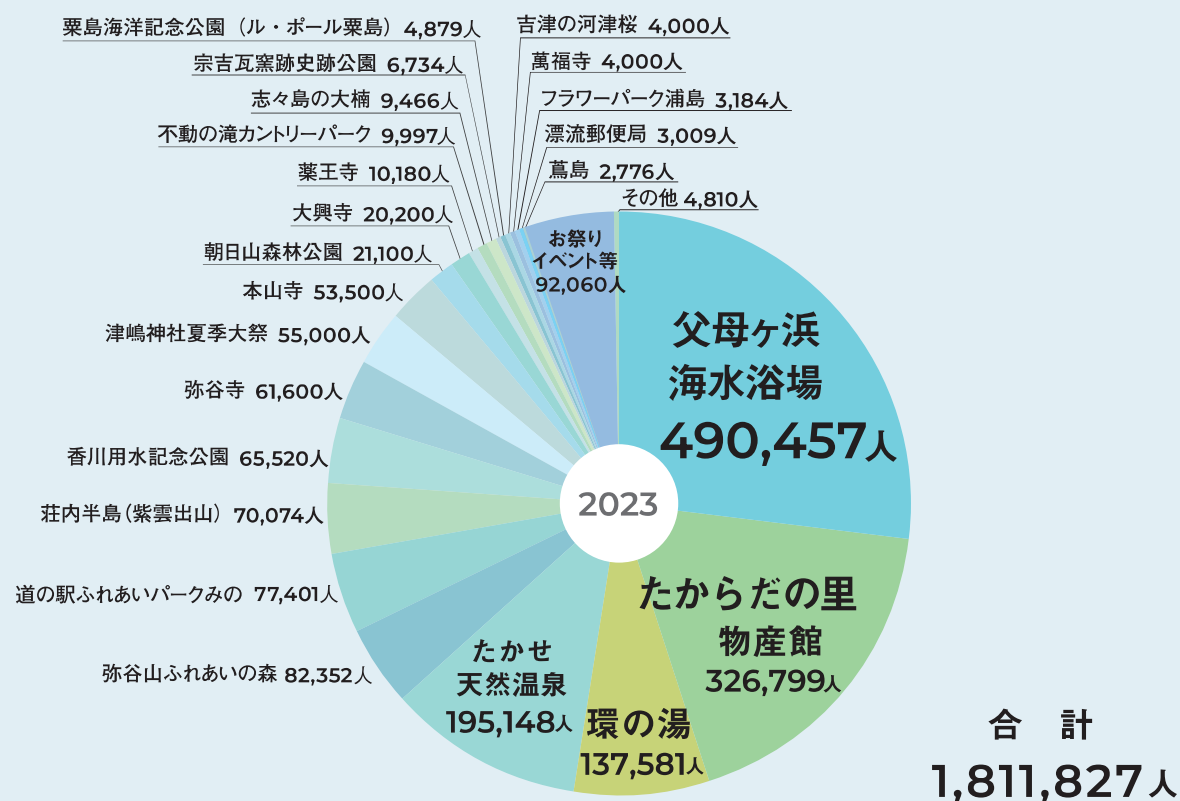
宿泊者数はコロナ禍においても約**2**倍に増加

資料 三豊市観光地(施設)別入込客数調査
(三豊市産業政策課)



三豊市観光客全体の約1/4が父母ヶ浜を目的とする旅行者 次いで道の駅たからだの里さいた

資料 三豊市観光地（施設）別入込客数調査（三豊市産業政策課）

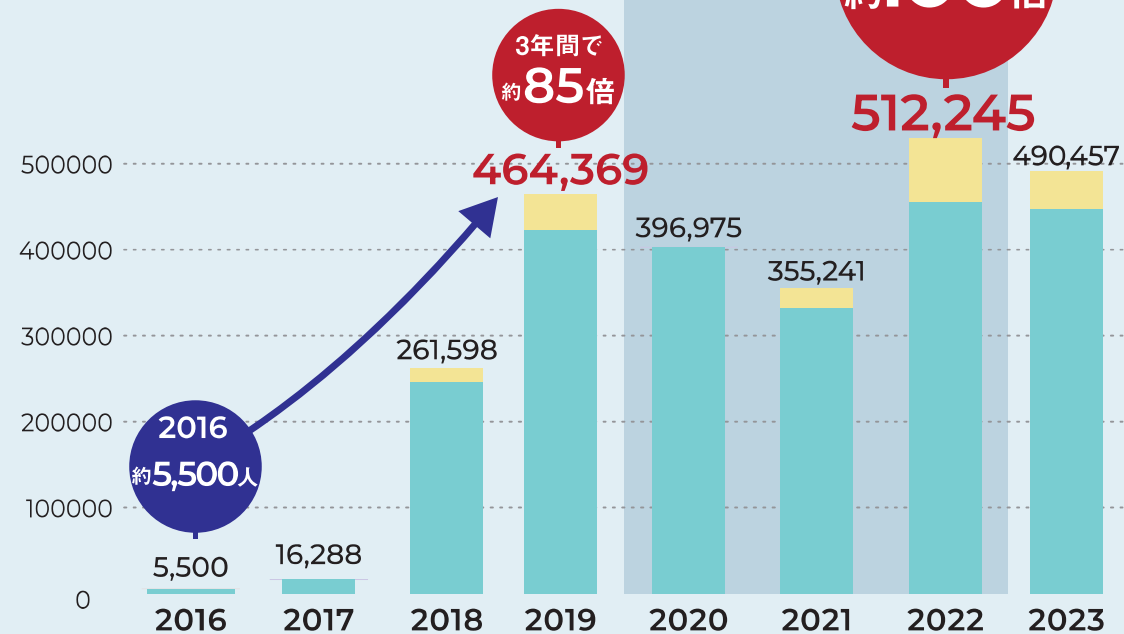


父母ヶ浜は、毎年約**50**万人が訪れる 人気観光スポットに**成長**

資料 三豊市観光地(施設)別入込客数調査(三豊市産業政策課)



父母ヶ浜入込客数の推移
 GW
 GW以外



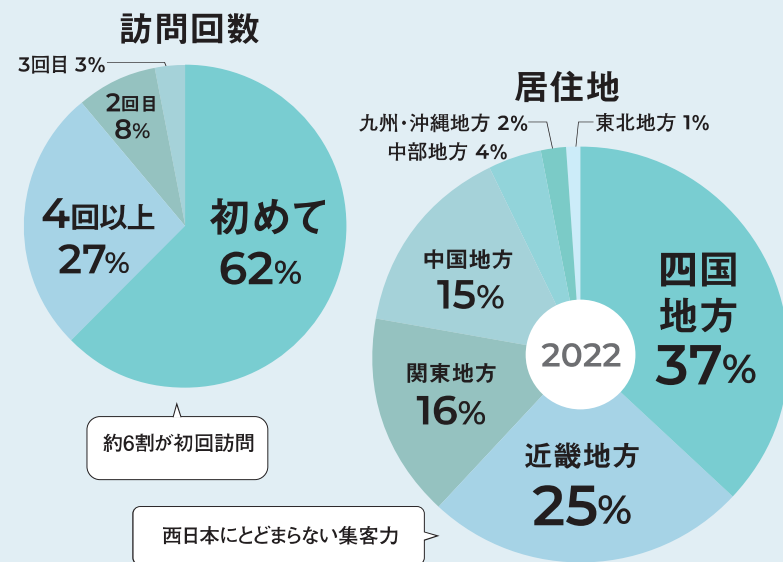
主要な観光地の比較において見られる対照性

父母ヶ浜

初めてのの方が約**6割**

参照 父母ヶ浜現地アンケート(三豊市産業政策課、三豊市観光交流局)

実施期間 2022年5月4日(水)、5日(木)、7日(土)、7月30日(土)、31日(日) 回答数:182名



日帰り旅行 三豊市内での観光消費額

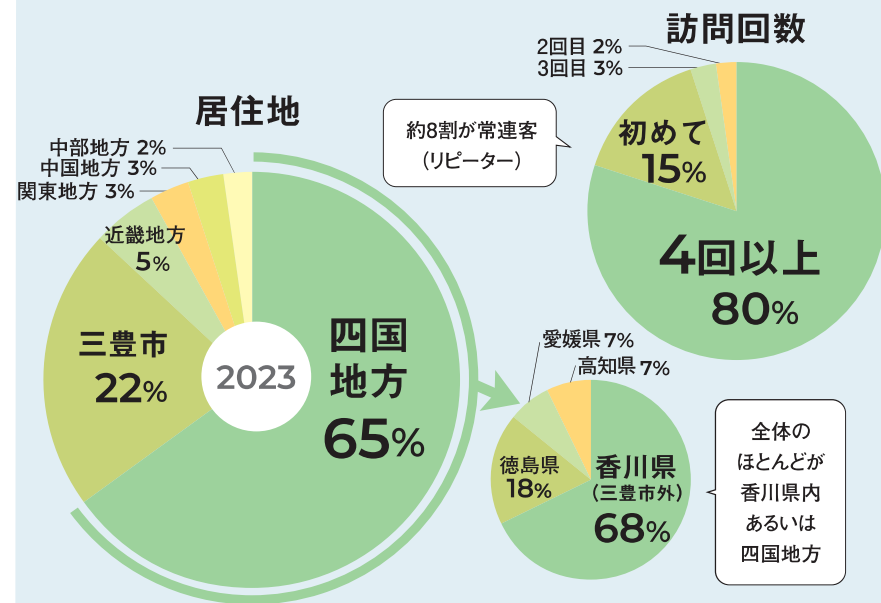
交通費	¥8,783	1人あたり 17,882 円
飲食費	¥6,148	
土産費	¥2,951	

道の駅たからだの里さいた

常連客(リピーター)が約**8割**

参照 道の駅たからだの里さいたアンケート(三豊市産業政策課、三豊市観光交流局)

実施期間 2023年11月4日(土)、11月10日(金)、11月29日(水) 回答数:195名



日帰り旅行 三豊市内での観光消費額

交通費	¥1,187	1人あたり 4,044 円
飲食費	¥1,434	
土産費	¥1,423	

紫雲出山は世界的メディアに露出

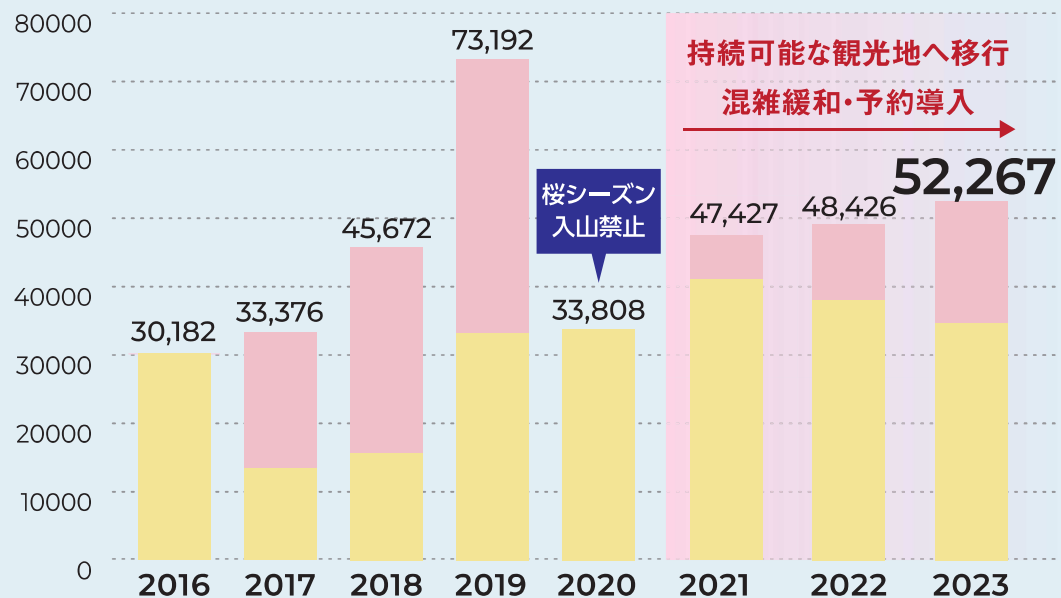


 **米国ニューヨークタイムズ紙**
「訪れるべき52カ所」に掲載

 **フランス大手日刊紙「ル・フィガロ」**
電子版"日本で最も桜を鑑賞するのに美しい場所"に
紫雲出山が選出

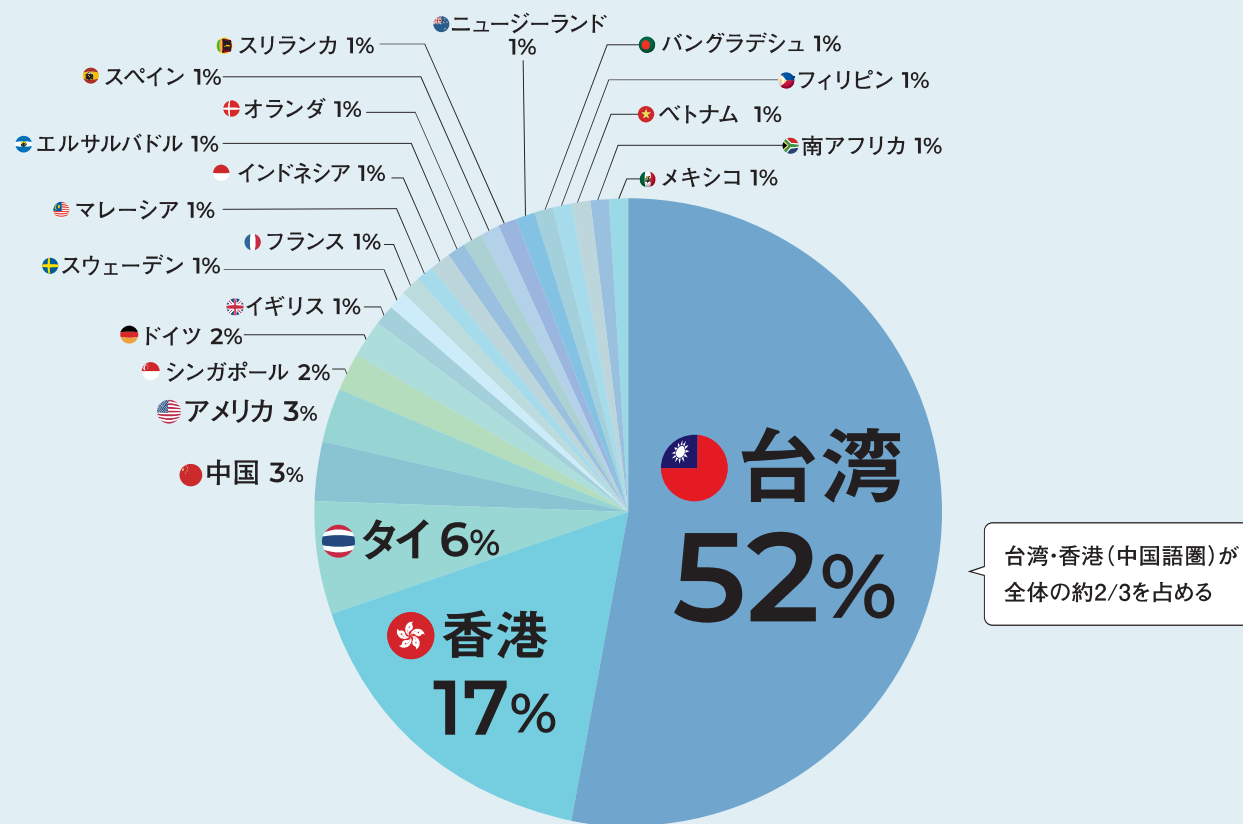
紫雲出山入込客数の推移

桜シーズン
桜シーズン以外



約30カ国以上から三豊市を訪問 台湾・香港が全体の7割

資料 紫雲出山桜シーズン訪日観光客アンケート
(三豊市産業政策課・三豊市観光交流局)



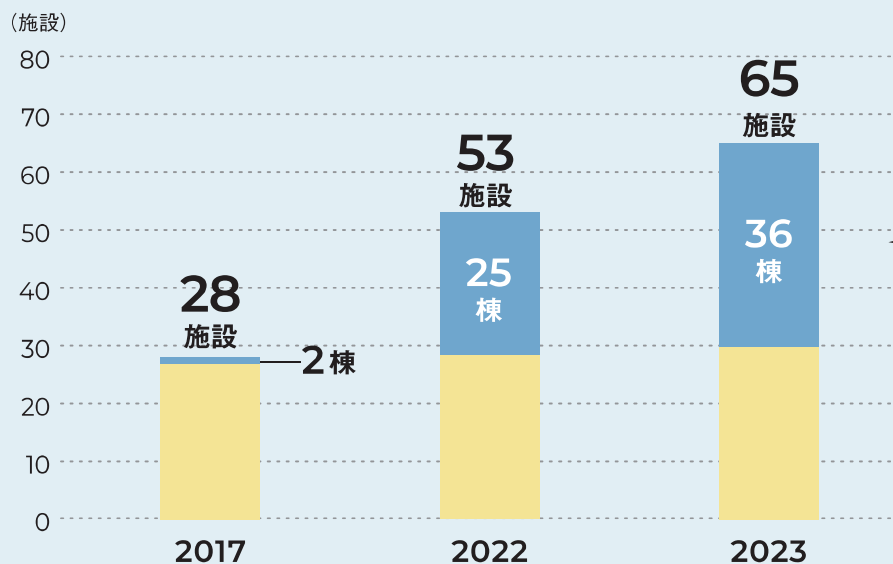
宿泊施設が約 **2.5** 倍に増加、 一棟貸しの宿が **1/2** 以上

資料 三豊市観光状況データ2023(三豊市産業政策課、三豊市観光交流局)

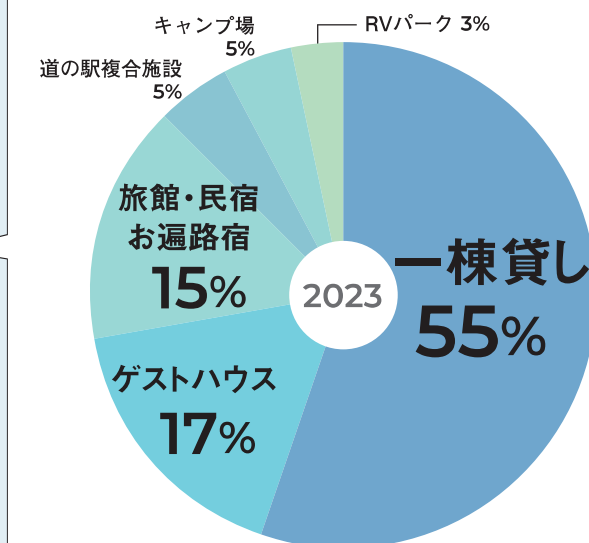
対象 稼働している宿泊施設

三豊市内の宿泊施設の増減

■ 一棟貸し
■ その他



宿泊施設の割合

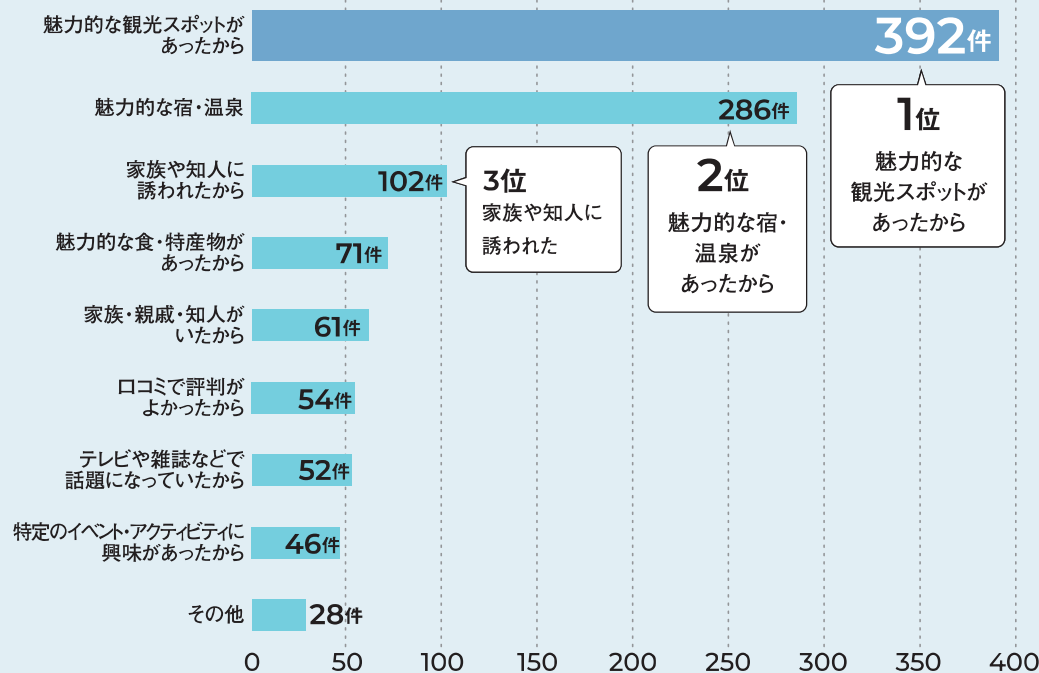


三豊のブランド力は 魅力的な観光スポット

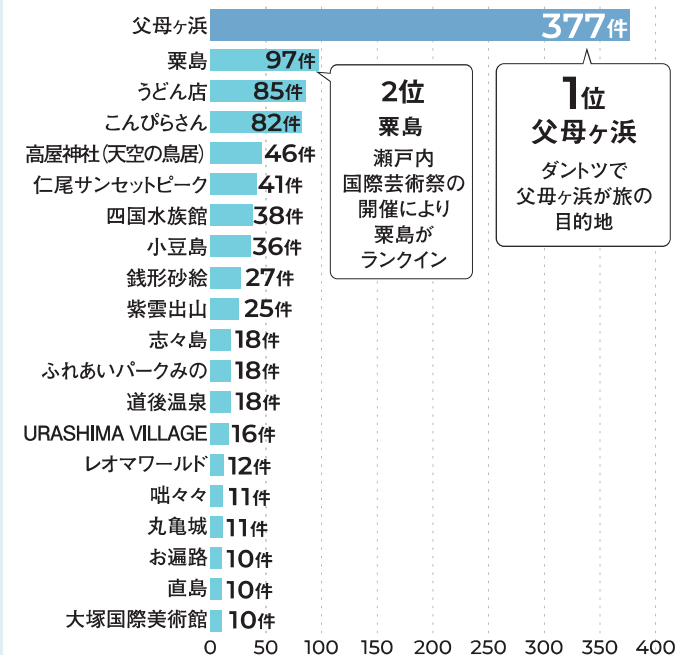
目的地の1位はダントツで父母ヶ浜

資料 三豊市宿泊者アンケート(三豊市産業政策課・三豊市観光交流局)

三豊市を選んだ理由(複数選択)



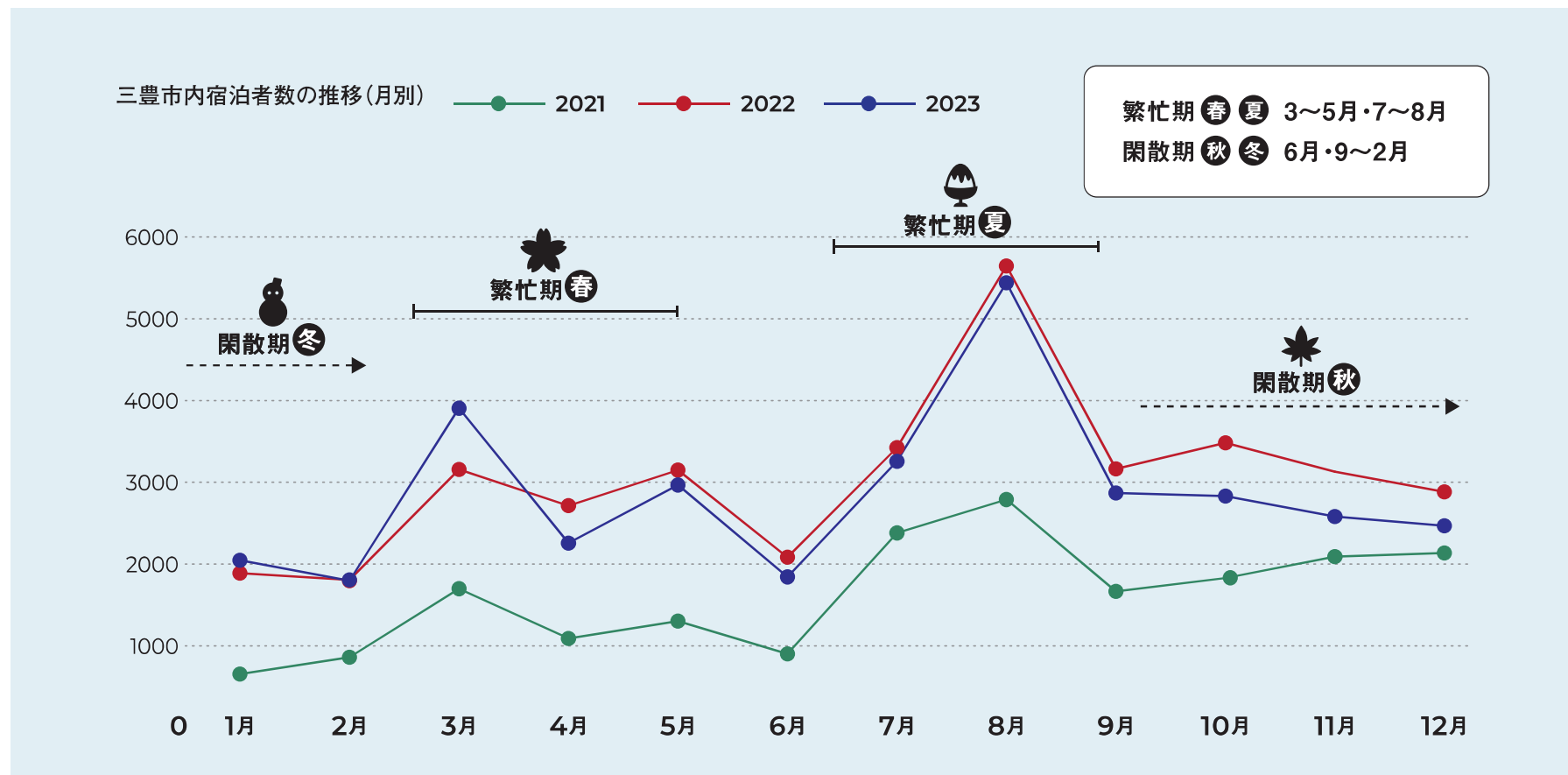
旅の目的地 今回の旅の目的地を3つお答えください。



備考 アンケート集計期間:2022年4月下旬～11月上旬
瀬戸内国際芸術祭 開催期間(秋):9/29～11/6

春夏は繁忙期、**秋冬**が閑散期

資料 三豊市宿泊数調査(三豊市産業政策課)

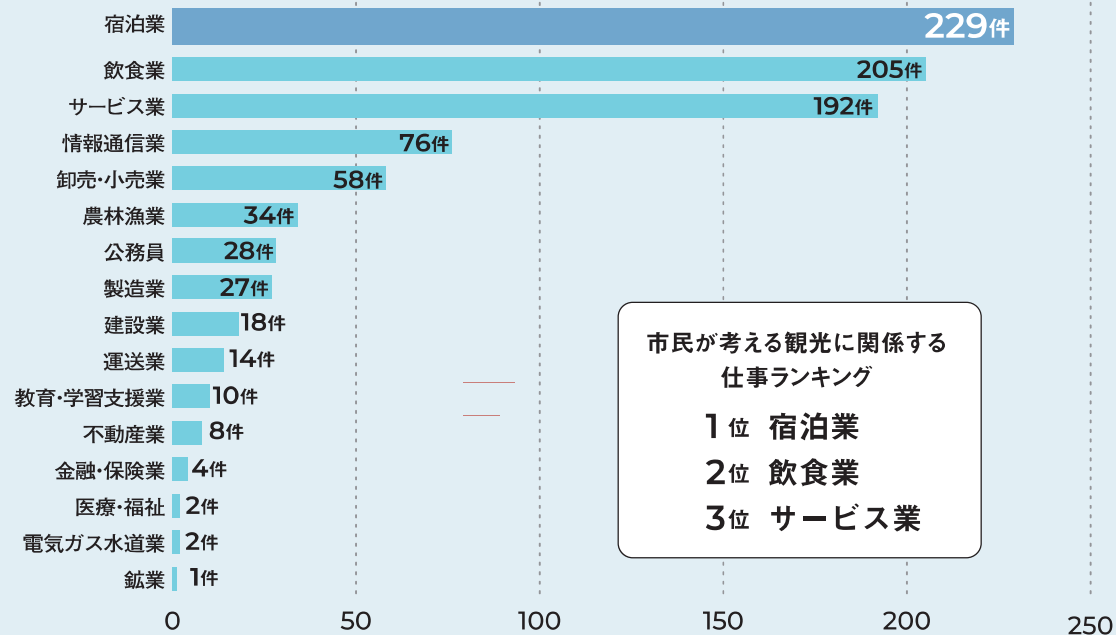


約9割の市民は「観光」と「自分」は無関係と感じている。

資料 三豊市の観光に関する市民アンケート
(三豊市産業政策課・三豊市観光交流局)

観光と関係性

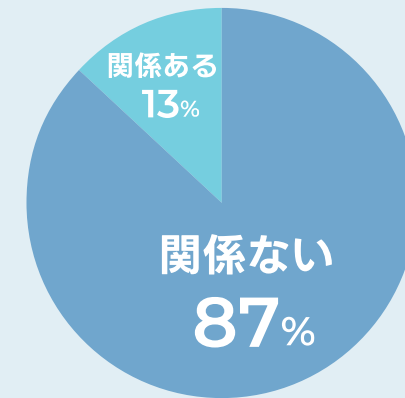
観光に関わる仕事(業種)とはどんなイメージがありますか?(複数選択可)



市民が考える観光に関係する
仕事ランキング

- 1位 宿泊業
- 2位 飲食業
- 3位 サービス業

あなたやあなたの家族の仕事や生活は、
観光に関係していると思いますか。



約9割の市民が**観光と無関係**
と考えている

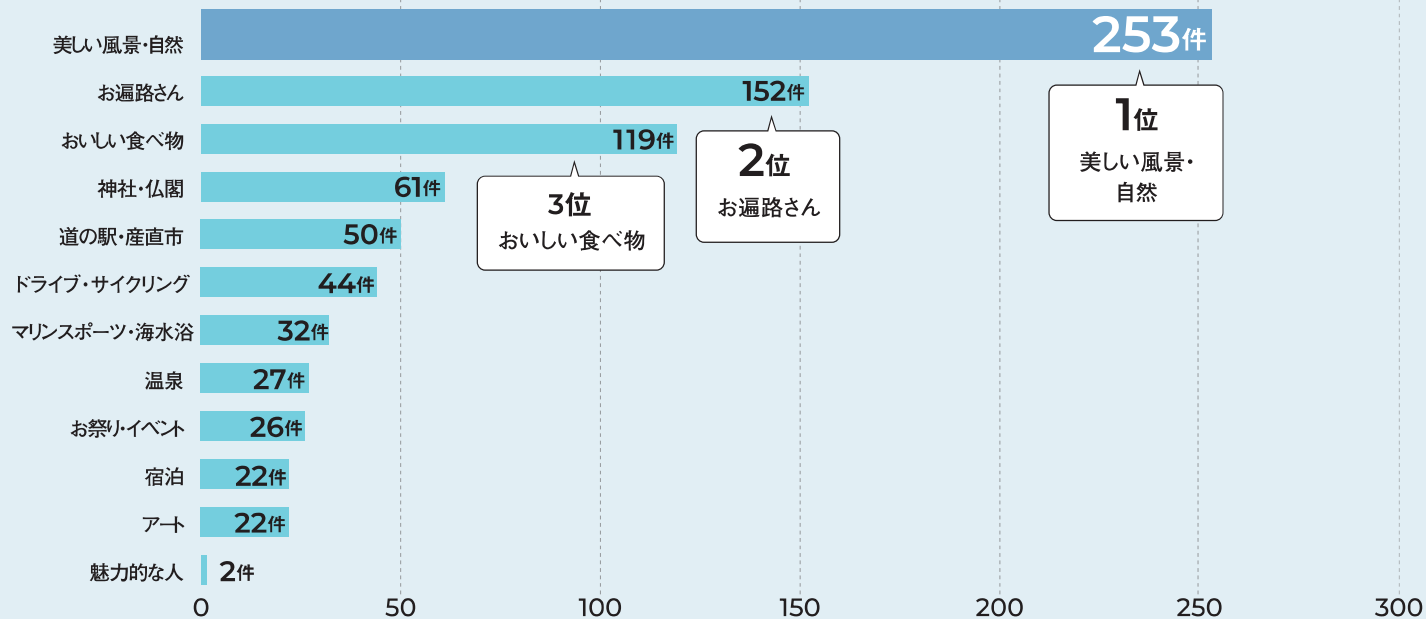
市民が考える三豊のブランド力

美しい風景・自然

資料 三豊市の観光に関する市民アンケート
(三豊市産業政策課・三豊市観光交流局)

市民が思う三豊のブランド力

観光客は何が目的で三豊市に来ていると思いますか。(複数選択可)

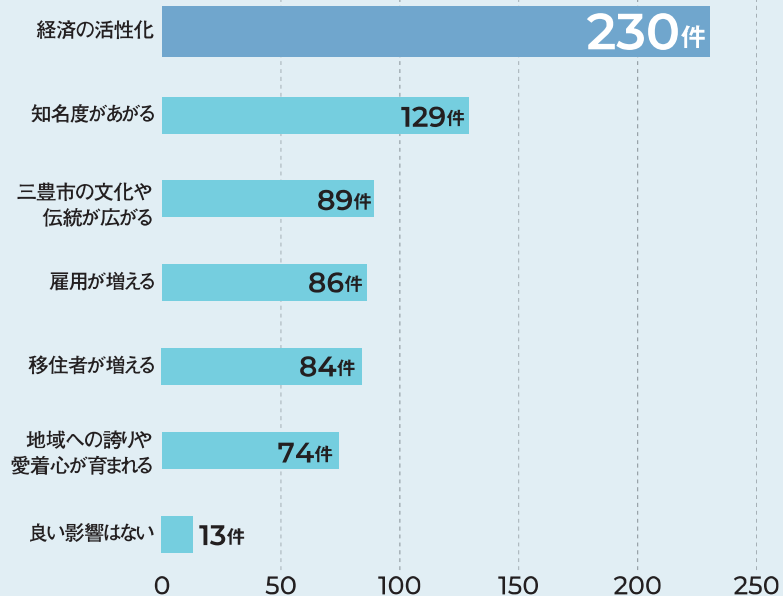


観光のメリット → 経済活性化×知名度向上 渋滞×ごみ問題 ← 観光のデメリット

資料 三豊市の観光に関する市民アンケート
(三豊市産業政策課・三豊市観光交流局)

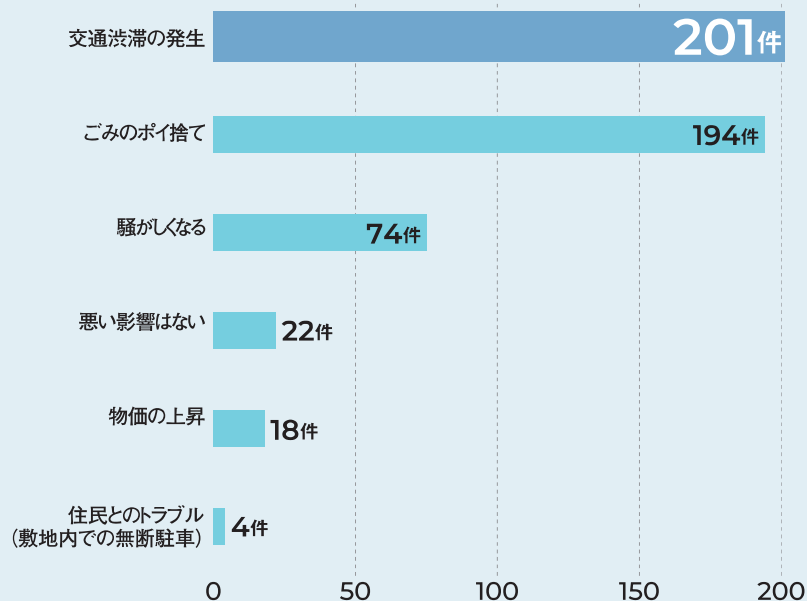
観光のメリット

観光客が増えることによる良い影響はありますか。(複数選択可)



観光のデメリット

観光客が増えることによる悪い影響はありますか。(複数選択可)



市民が願う三豊の観光の未来 美しい自然×安心安全な観光地へ

資料 三豊市の観光に関する市民アンケート(三豊市産業政策課・三豊市観光交流局)

これからの三豊の観光

三豊市にどんな観光地になってほしいですか。(3つまで選んでください。)

